



たちはマラソン大会の参加賞Tシャツなどを寄付したのがご縁で入会しました。

先日、大隈さんと僕たち夫婦で一

緒にお食事をする機会があり、いろいろなお話を聞きました。ご存じのようにエチオピアは貧しい国で、たとえ個人名宛てで物資を郵送しても全部誰かにとられてしまい、目的の所へは届かないそうです。そこで、大隈さんは直接エチオピアに行つて、目的の所へ手で届けに行くそうです。世界にはいろいろなことがありますね。日本は本当に平和です。

診療室の待合室には武蔵野倶楽部の資料ファイル、そして受付に募金箱を設置しました。関心がありました

たらご協力ください。

時代に逆行？

昔、それこそ戦前戦後という時代、歯科界は「悪い歯は早く抜きましよう」という時代でした。現在高齢の方の中には早くから入れ歯にされた方も多くいます。その後保存技術の進歩や様々な材料ができ、「一度虫歯になってしまったら治りません。小さい虫歯であっても早く処置しましよう」という時代が訪れました。まさに僕たちが生まれ育った時代です。僕も歯医者さんに行きたびに削られ、奥歯は全部金属がかぶつています。

その後、僕たちが歯科医師になつた頃から、「虫歯であってもよく観

察していきましょう。必要であれば最小限の処置をしましよう」という時代に移行してきました。僕もこの考えには早くから支持しており、「どのタイミングで治療を始めるか」ということを考え続けています。

ところが、最近驚くべきことが起こっています。「悪い歯は早く抜いてインプラント」という考え方が広がってきているのです！個人的には本当に残念です。インプラントが体にとって良いものであればいいのですが、骨に金属を埋め込むということは決して体に良いことではありません。残念ながら歯を失った時の代替手段の一つでしかないのです。

いろいろ時代によって考え方も変わるのですが、取り返しのつかないことだけははいけません。皆さんはどう思いますか？